

生ける水

発行者 日本福音教会連合
岡山市北区丸の内
1丁目11番15号
理事長 倉賀野 攻
編 集 太 田 正 信

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

目次

- P.1 十字架と復活の証人として … 三浦正子
- P.1 時の声
- P.2 教会巡り⑤ 高知福音教会 … 郷千恵子
- P.2-3 死の恐れ、不安からの解放 … 川上新一
- P.2-3 歌いつつ歩まん … 石井 緑
- P.3 イースターの感動 … 鶴沼芳道・君子
- P.3-4 第39回総会・牧師研修会報告
- P.4 報告・案内 etc …

十字架と復活の証人として

聖泉キリスト教会
牧師 三浦正子

今年は二月二十五日よりレント(受難週)に入りました。灰の水曜日から受難週土曜日までの四十六日間。古い時代から荒布をまとい灰をかぶって悔い改めたと言われていま

され、アリマタヤのヨセフにより亜麻布に包まれ、岩を掘って造った墓に納められました。弟子達は逃亡し、誰一人としてイエスの最後を目撃した者はいなかったが、女達は

イエスの御身体がないのです。女達は途方にくれました。そこに現れた御使いは「あなたがたはなぜ生きている方を死

るのです。主は彼らの心の目を開き、ご自身の十字架と復活こそ救いの御業の中心である事・主の御名を信じる者に罪の赦しを与えられる事・

公僕であるはずの各省のあり様を始め、リハビリ制限撤廃を求める四十余万の署名を無視する棄民政策の行政。政治が官僚支配で操り人形の閣僚たち。

す。私共も日々、十字架を仰ぎ、主イエスを深く思いながらレントの日々を過ごしたいと思えます。

イエスの最後を遠くの方から見ていた。イエスは確かに死んで葬られたのです。復活は重い意味を持ちます。十字架と復活はまさに福音の中心と

女達は既に語られた御言と、今ここで起っている事実が何を意味しているのか理解出来たのです。そこで女達は戻り、

今見た事実を弟子達に伝えました。ところが、それを聞いた弟子達は女達の知らせを信じようとしなかったのです。

幕末から明治の改革者たちは「新しい日本国」建設に自らの命と財を投げうったのである。気骨だけでもその様な政治家を求めても無駄か？

「イエスは大声で『わが神わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか』」

絶望としか思えない悲しみの極みである十字架から一変、主は甦られ、輝かしい朝とな

うと、その復活のお姿を弟子達に現わされます。主を裏切り傷心の中にいるシモン・ペテロに、ご自身が生きておられる事を現わされたのです。

そして二千年の間、あらゆる人種、言語、芸術、文化と生命力をもつて人間を生まれ変わらせ、教会を生み出して

容認させたのは名も無きキリスト者たちであった。

流された血潮により、罪の贖いは成し遂げられました。神からも人々からも見捨てられたのですが、主は自ら見捨て

られたから三日目の朝、女達は安息日の明けのを待ちかねていた様に香油を持ち、墓に向かいました。女達を待つて

たので「霊」を見ているのだと思えました。復活の身体は手で触る事が出来、食べ物も食べれば吸収される身体で

から「死」つまり決定的にそこへ起った事実の証人として彼らは全世界に出て行ったのです。今年のイースターは四月十二日です。感謝をもってお祝いしましょう。

我ら名も無き五%未満のキリスト者。自分の事で齷齪せず、御霊の助けを戴いてリバイブされ、神と隣人への愛、祈りによってこの日本を変え「キリスト教会(者)ここに有り」と世人に言わしめたい。キリスト者よ奮い立て。



復活

出来る者とされたのです。(ヘブル四・十四・十六)。十字架上で息を引き取られた主イエスは、十字架から降ろ

いたものは脇へ転がされていた大きな石、そして空の墓。確かに納められている筈の主

弟弟子達の殆どはまだ直接、復活の主にお会いした事がなかったで「霊」を見ているのだと思えました。復活の身体は手で触る事が出来、食べ物も食べれば吸収される身体で

から「死」つまり決定的にそこへ起った事実の証人として彼らは全世界に出て行ったのです。今年のイースターは四月十二日です。感謝をもってお祝いしましょう。

我ら名も無き五%未満のキリスト者。自分の事で齷齪せず、御霊の助けを戴いてリバイブされ、神と隣人への愛、祈りによってこの日本を変え「キリスト教会(者)ここに有り」と世人に言わしめたい。キリスト者よ奮い立て。

日本福音教会連合 教会巡り⑤ 御言に立って

高知福音教会
牧師 郷 千恵子

高知福音教会は一九五三年土居敏男師により開拓され、その後、歴代の諸先生方に信仰が継承され、一九七一年、太田師ご夫妻により、発展致しましたが、一九八六年岡山勝栄キリスト教会に転任され米子キリスト教会で二十年間奉仕させていただきました私達が着任致しました。

涯を生き抜き、二〇〇五年二月、八十才で召天致しました。その長い闘病生活の中にありました私達の為に、教会員は、よく祈って下さり、また私達の奉仕の足りないところを、補って下さったことは、生涯忘れ得ないことです。

郷守の召天後、私はその遺志を継いで奉仕をさせていただいておりますが、二〇〇七年宣教の業が進みゆくように協力しております。



その二年後、郷守は胃の全摘手術を受けて「あと二、三日の命」と宣言されましたが、奇蹟的回復を得、その後一七年間生かされましたが、その間、幾度も生死の境に立たされた郷は、何時も神に会う備えの時として、毎朝四時に祈り、主の導きにより、新会堂建設に着手しましたが、病弱な身をもっては到底なし得ないことですが、神は今の状況がどうあるうとも、必ず成就して下さるといふ信仰に立って、従った時、神の祝福を得、一九九三年、三階建ての新会堂が完成致しまして、一同主の聖名を崇めました。

と祈りを込め、教会の中の様子がよく見え、入りやすいようにと、教会玄関を広げ、会堂前面を絵ガラス張りにして子供達への伝道こそ、成人伝道の突破口として、チャペル子供音楽教室を開いています。内容は教会学校と同じですが、更に音楽プロの教会員にとつて、楽器や讃美歌など、丁寧に指導され、また楽しいゲームも好評で、教会員も参加し

「今日教会に、必要なものはより良い手段、新しい組織、新奇な方法ではなく、祈りにおいて力ある人です」という者となるべく祈り、また私達のキリスト化を切に願ひ、祈っております。

オ一週礼拝後は、一同で、クリスマス礼拝、子供クリスマス、イースター、召天者記念祭、野外の集い、特別集会父の日、母の日などの行事が、

現在、教会員のお子さんお孫さん達が、喜んで参加しておりますが、その様子に引かれてご家族も、時折、参加されますので「野外の集い」には皆様をお招きして良い交わりの時をもっております。

礼拝は、十字架の贖いの恵みの福音をオ一として語り、パウロ書簡を読み進んで、現在は、エペソ人への手紙を、学んでおります。

祈禱会は、祈禱の奨励に続いて、お互いの祈禱課題や、入院中の方のいやし、家族伝道のために、一致して祈りに励んでおります。

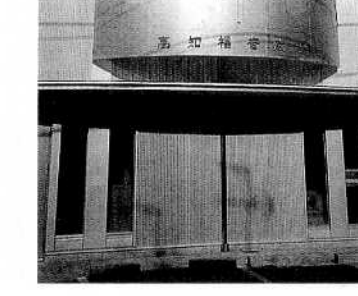
また会計の任を負って下さる方、会堂清掃をなさる方、

役員を始め、教会員は、自主的に奉仕され、礼拝司会は四名の方が奉仕され、奏楽は音楽プロの二名の方が、奉仕をしております。

高令者の礼拝出席のために、車で送迎する兄弟など、主のための奉仕が、助け合いつ、なされております。感謝です。

この年、二〇一〇年に向けて、ニイマルイチマル計画達成の祈りを欠かすことなく続けることの大切さを、深く覚えて、祈っております。

光の高地に たむるなせる
主の兵士たち 身を備えよ
谷間に隠れて
すきをうかがう
悪魔の手下の 数は多し
信仰は勝利 信仰は勝利
信仰もて
世と悪魔に勝たん
新聖歌四五八番



死の恐れ、不安からの解放

高松復活キリスト教会
牧師 川上 新一

イースターおめでとうございます。主の復活を記念する日を迎えることができ感謝しています。イコリント15:54『死は勝利にのまれた』とあります。今から10年前、胃の5分3を切除する手術を受け

ました。手術する前夜、不安と死に対する恐れがありました。祈りの中で詩篇23:4のみことばに励まされて手術を受けることができました。短い時間で無事に手術を終えることができました。数年前、

歌いつつ歩まん
信仰は勝利
熊毛キリスト教会
牧師 石井 緑

盲腸炎を起こし、すぐ手術を受けることになりました。高熱と激しい痛みに苦しみました。すでに腹膜炎をおこし生命の危険がありました。十分



に麻酔も効かない中に手術を受け気を失うほどでした。手術を終えても痛みが続きました。虫垂炎が破裂した為入院生活が長かかりました。松田先生が高松に特別集会の奉仕の帰りにお見舞に来て下さり、イエス様の十字架の苦しみを体験されましたねと言っ

イースターの感動

富士見望キリスト教会

牧師 鶴沼芳道・君子

「また幼い時から聖書に親しみ…」テモテII 3・15 このテモテのように、教会へは母

の胎に宿った時から行っていたわけです。神の恵みに守られ祈られて育ちました、小学

す。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。とみことばにあります。死んだのち復活の体によみがえります。ここにクリスチャンの希望があります。

ジョン・ウエスレーは朽ちるものは必ず朽ちないもの着この死ぬものは必ず死なないものを着ることになるからである。その上、見えざる世界である死も黄泉もその中にいる死人を出すであろう。従って、神がお造りになつて以来、かつて生き、そして死んだ人間すべてが、不滅のもの不死のものとして、甦えるであろう。死んでいた者が、死んで

いた者が皆、大いなる者も小さき者も共に、神の前に立っているのが見えた。と語っています。死の恐れ不安から解放して下さい方は、イエス・キリスト以外にありません。今も生きて働いておられる方に希望をもって、信仰の戦いを勝利して進みたいと願っています。

校の時、教会学校の先生より、そろそろ洗礼を受けたらどうですか」と勧められました。すでに自分の罪もわかりイエスがその為に救い主として私の為に死んで下さったと信じました。11歳の時イースター

の日に受洗の恵みに与りました、教会の講壇の後に洗礼槽があり、白い洗礼服を着て大人の中に混じつて順番に一人ひとり水につかりました。洗礼槽から上がった時、「神様の子どもになった」という喜びの自覚が溢れました、しかし本当に主の十字架がわたしの為ということは中学生になつてから家族が次々に病気になる改めて罪深さを知らされました、心でしっかりとイエス様の十字架を受け留めました。しかし信じて一歩を踏み出した事で信仰が始まりました、もう受洗して四十年以上になりますが、受洗した事は信仰の原点でありました。

復活された主をこの年も新たな思いを持って喜びと感謝をささげます。そして尚主を信じて救われる方々が起こされることをお祈り致します。あなたの中に在すキリストにして栄光の望なりコロサイ1・二七「クリスチャンホームに育つた自分は主イエスが甦った特別な日であると単純に感じていた。成長するにつれイ

スターの迎え方に変化をもたらしてきた。最初の感動は大学に入学、自分の罪の為に主キリストが十字架に磔にされ罪を許し永遠の命を与えて下さった故に甦りを約束して下さいましたという新事実に感動を覚えた。神学校に入学した時、わが恵み汝に足れりコリントII 十二・九細きみ声を聞いてからであります。三年前に召された両親の姿、教会に又社会に仕え黙々と歩んできた姿勢であります。誰とでも機会を作つては自分の生き方をみせながら福音を伝えていました。今一人の方が教

会に結びつこうとしておりません。一粒の麦…もし死んだら豊かに実を結ぶようになる。ヨハネ十二・二四。成すべき事を終えて天の故郷に帰った親の顔は安らいでいた。地上の労苦を解かれて休みに入り神の子となつたのであります。天にて再会する時は親子としてではなく、主イエス・キリストによつて贖われた神の子供として交じりあるその日を目指しつつ自分だけではなく主に与えられし使命を遂行しつつ、主の憐れみに生かされている感謝を、日々覚えつつ邁進してゆきます。

日本福音教会連合第三十九回総会が、三月二日(日)コンフォートホテル岡山で、三日(月)岡山中央基督教会で開催されました。太田正信理事長による開会礼拝で、ローマ16章1-16節から、「主にある」事について、「聖徒たちの援助者、命を投げ出した人、労苦した人達」などについて、そして私たちが主に在る相互の有り様と労苦は他者は知らなくてもイエス様が御存知で命の書に書き留めて下さる事ゆえ

第三十九回総会・牧師研修会報告

『二〇一〇年のゴールを前に』

二〇一〇年のゴールを前に互いに祈り励まし合つて行きましよう。と語られました。続いて議員点呼が行われ、(出席代議員21名、総会成立)議長に戸叶誠先生、書記に稲田敏朗先生が選出され議事が進められました。

第1号議案、08年度の事業報告。第2号議案、08年度の会計報告。第3号議案、09年度の事業計画審議。第4号議案、09年度の会計予算審議、以上は出席代議員全員が承認されました。

仰なくして戦っていくことはできません。しかしどんなに敵が多くても勝利者であられる主が、私と共にいてくださるので恐れることなく進むことができます。

「わたしたちを愛して下さいたかたによつて、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。」(ローマ八章三十七節) 何度も戦いに疲れて倒れてしまっているかのように思える時でも、今思えば主が共に戦つて勝利へと導いて下さったのだと思えます。ときには、主に委ねてしまえばいいものを自分でなんとかしなければと主の戦いを妨げていたこともありました。そんな時にも主は戦い続けてくださっていました。

これからも、悪魔の策略に対して立ち向かうことができるとともに神様のすべての武器を身に付けていきたいと思ひます。私達が戦いに熱心になればなるほど悪魔も強く迫ってきます。私達をいかに落し

いと願っています。神様に生かされている限り神様と共に、戦い続けていきたいと願っています。

特筆される事は、日本弟子たちの教会と朴永信先生の加入と岡山中央基督教会、野田伝道所が岡山中央基督教会から独立して、佐々木寛治先生が赴任と決まった事などです。

名議長と事前に総会資料が郵送されていたのと主に在る一致によって時間的に余裕のある総会となり、第5号議案、役員改選について説明が行われ、その後、席順で各自の証しが行われて総会初日のプログラムは終了しました。

早天祈禱会は、郷千恵子先生のご用で「プロテスタント宣教百五十年のポスターのヘボン師など、初期の宣教師の写真を見て、異国日本を愛し主に従う献身の生涯、労苦された事などを思つて涙が溢れる事、今は亡き主人と共に主に仕えながらも、充分主人に従えなかった」事など赤裸々な言葉とアモス4章12節から「あなたの神に会う備えをせよ」と慰めと励ましメッセー

ジを戴きました。総会二日目は、会場を岡山中央基督教会5Fに移し、第5号議案、役員改選が行われました。今回は理事長(太田正信師)は任期満了(二期二年、連続三期まで)で、新役員は次の通りです。

理事長 倉賀野攻師 (教務の教師委員会担当)

副理事長 戸叶 誠師
総務理事 太田正信師
伝道理事 阿部俊昭師
理事 三浦正子師
理事 大川百合子姉
理事 平井 猛兄
監事 稲田敏朗師
監事 森下清子姉

第6号議案の特別事項、全員承認の後、新加入の朴永信先生の紹介と挨拶があり、続いて新理事長、倉賀野攻先生司式による三浦 愛先生の按手式が行われました。

総会に続いて三日午後三時から四日午後にかけて、牧師研修会が岡山中央基督教会で行われました。今回のテーマは「教会と再臨」で、三人の先生方が講演下さいました。

研修Ⅰは「再臨と救い」について阿部俊昭先生の講演。再臨の用語から阿部先生の個人的な救い、終末論、再臨と広範囲の内容で持ち時間超過の熱弁でした。

研修Ⅱは「再臨と聖潔」について倉賀野攻先生の講演。再臨ときよめを旧約聖書のエノクの携拳とタニエル書からと新約聖書からはマタイ24章、Iテサロニケ4章、5章、黙示録3章のラオデキヤの教

会、22章20節から先生の人柄と再臨ときよめに相応しい講演を下さいました。四日の早天祈禱会は、鶴沼君子先生が、マルコ10章46〜52節のバルテマイの記事から

「再臨信仰は篤く、聖書解釈は寛容で」をモットーにして岡山再臨待望同志会で再臨について研鑽を背景に、同志会例会での研究発表のレジメ(3枚)サービス?



イエス様は全てを御存知であるが、具体的に求める事を私たちに對しても求めておられる事を御自分の生活と重ねてお話しされました。研修Ⅲは「教会と再臨」について戸叶誠先生の講演。

教会のかしらなるイエス様の再臨について、イエス様御自身が再臨を待望(マタイ10章23節、16章28節)のお心。再臨に関する譬から再臨の前兆、備え、空中再臨、大難難時代と地上再臨、最後の審

判、そして教会のなすべき働きを語られました。各研修会は、再臨と言う今の時代に相応しいテーマだけに真剣で厳肅な空気で行われました。

閉会礼拝は太田正信先生が、ルカ10章17〜20節から「天に名が記されている事を喜ぶ」と題して、主に選ばれ召された事を喜ぶ。①救われ、神の子とされた事をいつも喜ぶ。②滅び行く魂を救いに導く光栄ある働きに召された事を喜ぶ。③働きにおける栄光は主にお返しし、自分の名が天に記されている事を喜び、「誇る者は主を誇れ」。主のように仕える人になる事。そしてカテドラルを建てる喜び(石切り場の2タイプ労働者)から働く目的を知り、感謝と喜びを持つて労する事。

ある姉妹の証しから具体的な12項目の祈りが答えられた事から具体的なお祈りに励んで来年は、その成果をご報告出来るようにと語られました。研修Ⅲの終り10分に、新理事長、倉賀野攻先生が、連合教師の氏名と教会を読み上げこの一年間の健康と働き、祝福をお祈りされました。

小さな群れではありますが、主の教会でありその群れ、選ばれた主の器たちは主と共に遣わされた地に赴きました。

報告・案内

◆イースターおめでとうございます。復活の主と共に、復活(神)の命に満たされてこの年も歩みましょう。

◆第三九回総会・牧師研修会報告にありますように、祝福された総会、研修会が三月二〜四日とコンフォートホテル岡山と岡山中央基督教会を会場に開催されました。諸教会の先生方、愛兄弟の皆様のお祈りとご奉仕を感謝します。新しい役員と連合加入の、「日本弟子たちの教会」と朴永信先生、車在淑夫人、長男、善東兄(高一)。二男、賢東さん(中一)。三男、俊東さん(三歳11か月)ご一家のため、岡山中央基督教会から独立しました野田伝道所と佐々木寛治先生のために特別にお祈り下さい。

◆三月三十一日(月)火)の両日、夏季聖会委員会と牧師研修委員会が総社市のサンロード吉備路で行われました。◆岡山市は四月一日から政令指定都市移行に伴い、市内の住所に「区」が入ります。岡山中央基督教会は、岡山市北区丸の内に岡山勝栄基督教会は、岡山市南区福浜町です。